

# 目 次

まえがき ..... i

## 第 I 部 オーストラリア大都市圏の構造変容

### I 序 論 ..... 2

1. 現代オーストラリアの課題 ..... 2
2. オーストラリアの都市構造 ..... 5
3. 使用データの特徴：オーストラリア国勢調査の  
カスタマイズデータ ..... 8
4. 本書の構成 ..... 11

Column ①グローバル化の進展と変容するオーストラリアの「食」 ..... 14  
大都市で愛される高級食材の wagyu

### II シドニー大都市圏の構造変容 ..... 17

1. シドニー大都市圏の拡大 ..... 17
2. シドニー大都市圏における  
エスニックグループ別の居住分布 ..... 18
3. シドニー大都市圏の拡大と多民族化の進展 ..... 23  
—アジアへの玄関口と世界都市としての発展—
4. シドニー大都市圏における  
エスニックグループと所得との関連 ..... 26
5. ジェントリフィケーションの進行 ..... 28
6. シドニー大都市圏における社会・経済的 ..... 31  
特徴別の住み分けの状況—中国系住民に着目して—
7. まとめ ..... 32

### III シドニー大都市圏におけるアジア系移民の ..... 34

#### 移住・集住・エスニック都市空間

—ウェスタン・シドニー地域のフィリピン系移民を事例に—

1. はじめに ..... 34
2. オーストラリアにおける ..... 36  
フィリピン系移民の移住形態

(1) 到着年次からみた特徴	36
(2) 州別・大都市圏別にみた特徴	39
3. シドニー大都市圏のフィリピン系移民の集住	41
4. ブラックタウン市における エスニック都市空間の形成	45
(1) 小地区でみたフィリピン系移民の集住傾向	45
(2) 「見えない景観」としてのエスニック都市空間	48
5. おわりに	51
<b>Column ②</b> アウトバックツーリズムと都市住民	54
<b>IV</b> メルボルン大都市圏の構造変容	57
1. メルボルン大都市圏の拡大	57
2. メルボルン大都市圏の拡大と多民族化の進展 — 郊外開発とモータリゼーション —	59
3. 地域構造の変化と多文化社会	64
4. メルボルンのエスニック・タウン	65
5. まとめ	69
<b>Column ③</b> ダンデノン丘陵の森と親しむメルボルン市民	70
<b>V</b> メルボルンにおけるグローバリゼーションと コンドミニアム・ブーム	72
1. 留学生の急増とグローバリゼーション	72
2. 留学生の急増	75
3. メルボルンにおける高層建築物の増加と再開発	80
(1) オフィス空間の増加と住空間の拡大	80
(2) サウスバンクとドックランズにおける再開発	84
(3) CBD 居住者の年齢構成の変化	87
4. 留学生の急増と住宅需要および雇用に関する考察	88
(1) 住宅需要の変質	88
(2) 雇用への影響	89
5. まとめ	91
<b>Column ④</b> ワインとバーベキューを楽しむオーストラリア市民	94

## 第Ⅱ部 変貌する都市社会地理

VI シドニーのエスニック・タウン	98
—ライカートにおけるイタリア系コミュニティの拠点再構築の試み—	
1. 研究課題と調査方法	98
2. オーストラリアのイタリア系移民	100
3. シドニーのイタリア系人口の 居住分布とライカート	102
(1) シドニーのイタリア系住民の集住地 —家庭でイタリア語を話す人口の分布から—	102
(2) ライカートにおけるイタリア系住民の ビジネス展開とコミュニティ活動	104
4. イタリア系住民にとっての イタリアン・フォーラム	106
(1) イタリアン・フォーラムの建設と現況	106
(2) イタリアン・フォーラム文化センターの 所有権争い	108
5. アイデンティティの拠り所を求めて	110
Column ⑤多様性を活かした都市観光の推進 —シドニーの事例—	113
VII キャンベラのエスニック・タウン	116
—キャンベラにおける華人社会の空間構造—	
1. オーストラリアにおける中国系移民	116
(1) オーストラリアへの中国人移民過程	116
(2) 白豪主義政策：1901～70年頃	117
(3) 多文化主義政策：1970年代以降	118
2. キャンベラにおける華人社会	119
(1) キャンベラにおけるエスニック構造	120
(2) キャンベラにおける華人社会の形成	122
1) 華人団体の創立、2) 華人団体の機能	
(3) キャンベラ華人コミュニティの特徴	125
3. キャンベラの都市構造と華人社会空間構造	127
(1) キャンベラの都市的特性と都市構造	127

(2) 華人社会とキャンベラの都市構造	130
4. おわりに	132
Column ⑥アウトバックの中国人	134

## VIII アデレードのエスニック・タウン 137

### —アデレードにおけるベトナム系住民の分布とその特徴—

1. はじめに	137
2. オーストラリアにおけるベトナム系住民の特徴	140
(1) 東南アジア系住民との違い	140
(2) ベトナム系住民の分類	140
3. アデレードにおけるベトナム系住民の 特徴と居住分布	141
(1) 人口動態	141
(2) 居住地の分布	142
(3) 居住地選択の背景	144
1) 北・西部, 2) ヴァージニア, 3) 南部	
4. アデレードにおけるベトナム系住民の実態	147
(1) 1975～77年の難民	147
1) 事例 A: 著名な医師, 2) 事例 B: 南オーストラリ ア州知事, 3) 事例 C	
(2) 1978年以降の難民	148
1) 事例 D, 2) 事例 E, 3) 事例 F, 4) 事例 G, 5) 事 例 H, 6) 事例 I, 7) 事例 J, 8) 事例 K, 9) 事例 L	
(3) 1980年代後半以降の家族呼び寄せによる移民	151
1) 事例 M, 2) 事例 N	
(4) 新規移民・留学生 (事例 O)	152
5. アデレードにおけるベトナム系住民の空間	152

## IX 結 論 156

文献	161
あとがき	169
索引	173
著者紹介	177

# 目 次

図 1-1	オーストラリアにおける増加人口の内訳 (1945～2005 年)	2
図 1-2	オーストラリアにおける主な都市の分布	7
図 1-3	オーストラリア統計局によるテーブルビルダー	9
図 1-4	オーストラリア統計局によるテーブルビルダー (詳細画面)	10
図 2-1	シドニー大都市圏の発達過程	18
図 2-2	シドニー大都市圏におけるエスニックグループ別の 居住分布 (2011 年)	21
図 2-3	シドニー大都市圏における仏教信仰者の分布 (2011 年)	24
図 2-4	シドニー大都市圏におけるヒンドゥ教信仰者の分布 (2011 年)	26
図 2-5	シドニー都心周辺部における高所得世帯の割合 (2006 年)	30
図 2-6	シドニー都心周辺部における高所得世帯の割合 (2011 年)	30
図 2-7	シドニー大都市圏における居住年数別にみた 中国系人口の分布 (2011 年)	31
図 3-1	「海外生まれ」人口の出生地別・到着年次別推移	36
図 3-2	「フィリピン生まれ」人口の到着年次別男女差	38
図 3-3	シドニー大都市圏における「フィリピン生まれ」 人口の分布とその変化	42
図 3-4	フィリピン語・タガログ語使用状況 (2011 年)	45
図 3-5	ブラックタウン市における「フィリピン生まれ」 人口の分布とその変化	46
図 4-1	メルボルン大都市圏の発達過程	58
図 4-2	メルボルン大都市圏 (南東部) における公共交通のみ利用の 都心通勤者の分布 (2006 年)	62
図 4-3	メルボルン大都市圏 (南東部) における自家用車利用による 都心通勤者の分布 (2006 年)	63
図 4-4	メルボルン大都市圏 (南東部) における エスニックコミュニティの分布 (2006 年)	66
図 4-5	メルボルン大都市圏 (南東部) における 高所得者の分布 (2006 年)	67

図 4-6	メルボルン大都市圏における ベトナム人コミュニティの分布 (2006 年)	68
図 5-1	研究対象地域	74
図 5-2	外国人留学生 (大学生) の出身地と留学先 (2003 年)	75
図 5-3	メルボルン市における大学生の分布 (1991 年)	76
図 5-4	メルボルン市における大学生の分布 (1996 年)	77
図 5-5	メルボルン市における大学生の分布 (2001 年)	78
図 5-6	メルボルンの CBD 周辺部における 建物の建築年および階数 (2015 年)	82
図 5-7	メルボルン CBD およびサウスバンクにおける 主要な建物利用の構成比 (1992~2002 年)	83
図 5-8	メルボルン市における主要 4 地区別の住宅供給戸数 (1991~2007 年)	84
図 5-9	メルボルン・サウスバンク居住者の年齢構成 (1991~2001 年)	86
図 5-10	メルボルン CBD 居住者の年齢構成 (1991~2001 年)	87
図 5-11	メルボルン CBD における従業者数の変化 (1992, 2002 年)	90
図 6-1	オーストラリアにおけるイタリア生まれ人口 (1901~2011 年)	101
図 6-2	シドニー大都市圏におけるイタリア系住民の分布 (1991 年, 2011 年)	103
図 6-3	シドニーのイタリアン・フォーラムの位置 (2015 年)	105
図 7-1	オーストラリアにおける移民の推移	119
図 7-2	キャンベラにおける移民の推移	121
図 7-3	キャンベラにおける高齢者ケア情報と紹介サービスブックレット	125
図 7-4	キャンベラの地図 (1933 年)	127
図 7-5	キャンベラの 7 つの住宅地区	128
図 7-6	キャンベラにおける標準中国語を話す人口の分布 (2011 年)	131
図 7-7	キャンベラにおける広東語を話す人口の分布 (2011 年)	131
図 8-1	ベトナム系の人口動態と移民数の推移	138
図 8-2	州別ベトナム生まれ人口の推移	139
図 8-3	アデレードにおけるベトナム系住民の推移	142
図 8-4	アデレードにおけるベトナム系住民の分布	143

# 表目次

表 1-1	オーストラリアの都市別人口 (2016 年) .....	6
表 2-1	シドニー大都市圏における家庭での使用言語 .....	20
	(2001, 2006, 2011 年)	
表 2-2	シドニー大都市圏における使用言語別・ .....	27
	学歴別にみた所得状況 (2011 年)	
表 3-1	フィリピン人の渡航先 (上位 4 か国) (1981~2015 年) .....	35
表 3-2	オーストラリアにおけるフィリピン系移民の .....	40
	人口学的特徴 (2011 年)	
表 5-1	オーストラリアの大学定員に占める留学生数 .....	73
	(上位 10 位) (2003 年)	
表 5-2	メルボルン市における地区別人口総数と .....	76
	大学生人口の割合 (1991~2001 年)	
表 5-3	メルボルン市における海外生まれの .....	79
	大学生の構成比 (1991~2001 年)	
表 5-4	メルボルン CBD における高層建築物の建築年代 .....	81
	(2003 年)	
表 5-5	メルボルン CBD における高層住宅の居住形態 .....	88
	(2000 年)	
表 6-1	都市圏別イタリア生まれ・家庭で話す言語を .....	101
	イタリア語とする人口 (2011 年)	
表 6-2	イタリアン・フォーラムにおけるビジネスの変化 .....	108
	(2009, 2015 年)	
表 7-1	キャンベラにおける出身地別人口割合 (2011 年) .....	120
表 7-2	キャンベラにおける華人出身地別人口の推移 .....	121
表 7-3	キャンベラの主要産業別人口構造 (2011 年) .....	129

## 写真目次

写真 2-1	シドニー郊外のベトナムタウン：カブラマッタ	25
写真 3-1	オーバーン市役所の掲げる看板	43
写真 3-2	ブラックタウン駅前に可視化する エスニックな景観	47
写真 3-3	ブラックタウン市郊外住宅地における 「見えない」エスニック景観	50
写真 4-1	メルボルン都心部における高層ビル	59
写真 4-2	メルボルン都心周辺部における再開発地区 (サウスバンク)	60
写真 4-3	メルボルン郊外の専用軌道を走るトラム	61
写真 5-1	メルボルン CBD における高層住宅	80
写真 6-1	シドニーのイタリアン・フォーラム	107
写真 6-2	イタリアン・フォーラムのスペイン広場 を模した階段	107
写真 6-3	イタリアン・フォーラム文化センター	107
写真 6-4	イタリアン・フォーラムを散策する 台湾からの観光客	107
写真 8-1	アデレード北・西部のベトナム系施設	145
写真 8-2	ヴァージニアの農業地帯	146
写真 8-3	ヴァージニアの農業ハウスの内部	150